



# 農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

## 区画 1-1・2

## 日本リ・ファッション協会の皆さん



① 一般社団法人日本リ・ファッション協会（2009年設立）の代表理事をしている鈴木純子です。私は、誰もが自分らしく輝き、公平平等に幸せに生きられる社会を本気で目指して活動をしています。そのために持続可能な循環型社会の実現に向けて、一人一人が生活スタイルを変えるきっかけ作りとしてイベントやワークショップをコツコツ開催しています。畑はその活動のひとつです。

② 「農と衣」のつながりを感じる場を作るために、コットンと藍染めの藍を中心に育てています。食も大事なので、イチゴやトマトやかぼちゃも育てています。

③ (1) 収穫祭。お互いに収穫したものを食べたり種を交換したり、栽培方法や収穫したものをどんな風に使うかの情報交換をする。そしてお互いを褒めあう！

(2) 「農と衣」イベント。収穫したコットンと藍を使って、モノづくりや染色のワークショップを企画しています。大人はもちろん、地域の子どもたちにも楽しい学びの場を提供したいと考えています。

④ 自分の手を使って心をかけて育てる喜びを感じ、実りを収穫し、更に種を得るありがたい畑。種から翌年もまた恵みを得る。循環型社会の柱がここで体験できることが本当にありがたいです。この素晴らしい体験をする機会を一人でも多くの方にシェアしていきたいです。



ミシェルさんと鈴木さん

農園キャラクタNo.4  
ミケ・ラン・ジェロ



ミケ：三毛猫、ミケ姉さんと呼ばれている。ラン：トラ猫、走るのが速いのでラン。ジェロ：とつともふくよかなデブ猫ちゃん(ある時は右の絵の様なズル賢い猫として書かれるが実際は左の絵のような気のいい猫のようです(謎ですが))。ジェロ？



## てらたま協議会よりのお知らせ

# 今年も浸かれます!? 「江戸に浸かる。」は9/29(土)30(日)!!



「江戸に浸かる。」は今年で3回目を迎える地域のイベントです。きっかけは、葛飾北斎の生きた江戸をモチーフにかつての中学校をお江戸にしちゃおう！から始まりました。子どもは元気に昔遊び、提灯が灯る屋台で食らい、みんなで奏で、気分も躍る、自らも魅せる。世代を超えてみんなで楽しめる江戸文化の祭典なのです。今年は「～踊る・魅せる・感じる～あなたに夢。」をテーマに、去年盛り上がった寺島なすを聖火に見立て町内を巡る「青果リレー」で幕開き！江戸時代に花開いた大道食などの屋台が立ち並び、場内は江戸通貨の文に換金、着物を着て楽しめます。子供達は広い場所でワイワイ元気に昔遊び。そして今年は、江戸の盆踊りをみんなで楽しく踊ってしまいます。時代も世代も超えたお江戸の祭り。9月最後の土日を無邪気にみんなで楽しく躍動しちゃいましょう。(中西記)

## たもんじ交流農園!第二期開発 6 区画!! 耕作者募集開始!!!

今期開発中6畝のうち10月完成予定の3畝6区画の耕作者を募集致します(定員超の場合抽選)。

対象：たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他

耕作期間：2018年11月～2020年3月(1年5ヵ月)、農園会費：5,000円/月/約11㎡

応募方法：①お名前、②ご住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤自己PR(適宜)を書いて

メール teratama.machidukuri@gmail.com ないし玉ノ井カフェまで、応募締切：10月20日



たもんじ交流農園便り  
No.5-般 2018.8.20 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>  
問い合わせ先 小川 剛 (090-3412-3115)  
セブン・イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。